

9 関川

10 初摩谷川



9)関川
1
h=1.5m
ハヤの遡上は可能
川床に水草が茂る。



9)関川
2
洗掘防止工として
十字ブロックを敷設
している。



9)関川
3
h=1.5m
頭首工の上にはハヤが
生息している。

9)関川

4

h=1.5m

勾配が緩く魚・山椒魚も移動可能である。



9)関川

5

h=1m

ハヤ・鯉が生息する。



9)関川

6

h=2m

床固工とで2段になっており、魚の遡上しにくい構造といえる。



9)関川

7

h=2m+1.8m

階段工あり、魚の遡上可能である。



9)関川

8

同上



余白 差込 ← E-L

3

9)関川
9
h=10m
砂防ダム
堆砂により全て埋まっ
ている。



9)関川
10
h=4m
床止堰堤
上流は三面張工である。



9)関川
11
三面張工+段差工
魚はいない。



9)関川
12
h=1m
遡上可能である。

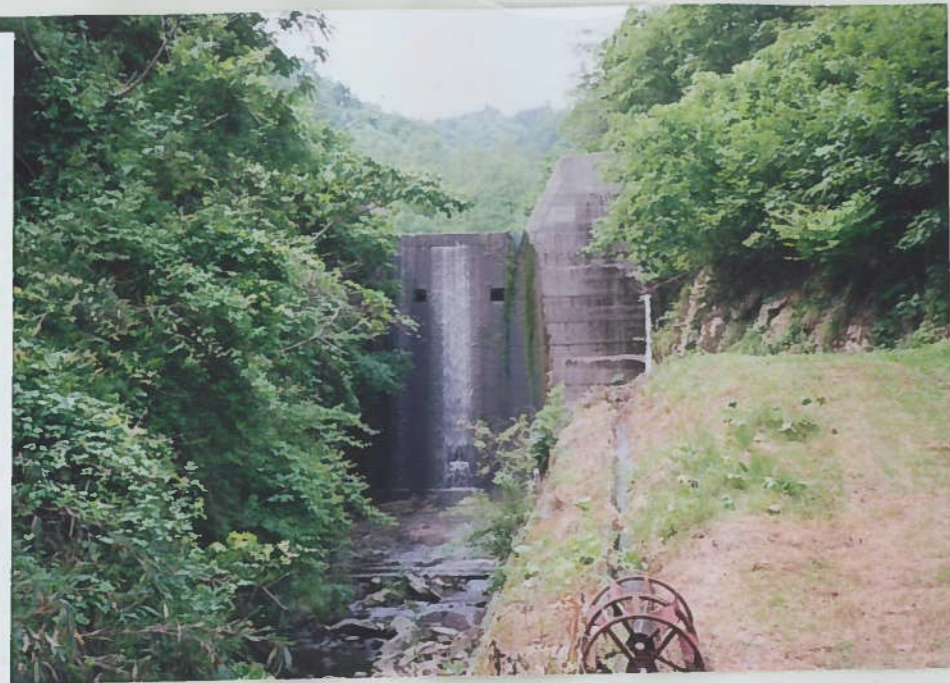


9)関川
13
河川状況
頭首工は低く魚は遡上
可能である。



9)関川
14
h=3m
ハヤも遡上困難か。
下に鯉・ハヤ生息する。

9)関川
15
h=10m
砂防+貯水ダム



9)関川
16
植林地状況
裸地+倒木で土砂流出
が激しい。



9)関川
17
三面張工+床固工
魚は生息不可能である。



10)初摩谷川
18
三面張工で魚は生息し
ない。



10)初摩谷川
19
三面張工+段差工で
魚の移動は難しい。



10)初摩谷川
20
植林地
下草が生育せず裸地が
現れ、ガリ侵食が始まり
つつある。

初摩谷川

10)初摩谷川
21
長坂集落



10)初摩谷川
22
山砂利層
中倉に分布する。



10)初摩谷川
23
中倉集落
水田は荒れ地、山は混交
林である。

